



白鳳点描

子どもたちが成長する秋に!

校長 川本 幸則

2学期も中盤になり、年度の折り返しとなります。9月22日に後期児童会役員選挙が行われ、子どもたちの役割もバトンタッチしています。10月18日には、後期児童会役員が進行を務める児童集会がありました。児童集会の前半で、役員の児童が「あいさつをして白鳳小を盛り上げていきましょう」と呼びかけがあり、後半では、体育委員会の児童が安全に運動会を行うための呼びかけもしてくれました。どちらも、とてもうれしいことです。教員の指導の下でのことですが、子どもたちの中から、声上がり、それが広がることで安心して過ごせる学校になっていくのは素晴らしいことと思います。

秋も深まり、青空が気持ちよい季節になってきました。

10月21日(金)と22日(土)の一泊二日の行程で修学旅行に行ってきました。6年生の児童にとっては、とても楽しみにしていた行事でもあります。担任からすれば、子どもたちの行事に向かうエネルギーを生かして、計画から実行までの過程を通して、子どもたちの成長を図る機会となります。

今年の6年生の担任は、子どもたちに直筆のしおりを作成させたり、グループ別で見学コースを考えさせたりと、つくり上げる実感を味わわせようと計画していました。実際の修学旅行では、担任の期待に応えるように、子どもたちは自ら考え、判断して見学コースを回り、目的地にたどり着きました。本当によく頑張ったと思います。

また、修学旅行では教科書や資料集で目にするものに、目の前で本物として出会うことができ、大きな感動を得ることができます。6年生以外も社会見学や校外学習で、本物と出会い、その感動を学びにつなげていきます。低学年では、草原にいる虫たちや草花などとも本物との出会いとなります。成長すると抽象的な事柄も、これまで獲得した知識などによって想像できますが、やはり具体物との出会いは、子どもたちにとっては大人以上に大きな経験となります。

まだまだ感染症への対応は必要ですが、対策を工夫して、子どもたちの大切な学びを続けていきたいと思えます。御家庭におかれましても、気候の良いこの季節に、何か「本物との出会い」が体験できる機会があるとよいと思えます。



東大寺大仏殿



南大門仁王像